

天板拡張くん

導入から一か月余り

▲各教室の机に設置された『天板拡張くん』



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

9月3日に各教室の机に『天板拡張くん』が導入されてから、一か月余りが経過した。今号のキマグレでは導入された天板拡張くんの使い方や、使用している生徒の声などを紹介する。

使い方

本校に導入され一か月余りが経過した『天板拡張くん』。説明書には『学習机を奥行き方向に10センチメートル拡張することにより、ゆとりを持ってパソコンや教科書、筆記用具などを置くようにする。また落下防止ガードにより、落下によるパソコンの破損事故や筆記用具などの落下を防止する』と書かれている。

生徒の声

導入された『天板拡張くん』に対して文村颯斗君（1ー7）は『天板拡張くん』のメリットとデメリットについて「机が広くなったことにより、使えるスペースが広がり利便性が上がったことがメリットだ。デメリットはすぐに机が汚くなってしまふところだと思ふ」と話した。また『天板

メリット

- 机が広くなる
- 筆箱や教科書が落ちない
- 書けるスペースが広がる

デメリット

- 教室が狭くなる
- すぐに汚くなる

拡張くん』が導入された前後での変化を「導入されると聞いたときは少し邪魔になると思っていたが、導入された後は面積が広がって使いやすいと思つた」と語つた。

芳賀勇成君（1ー5）は『天板拡張くん』について「物が落ちてしまふ心配をする必要が無くなったところがメリットだと思う。ただ机の面積が広がったぶん、ほかの机との間隔が狭くなつてしまつたため窮屈になり、教室内を移動しにくくなつてしまつたところがデメリットだと感じている」と語り、加えて「導入される前はこんなに大きいものが設置されるのかと思つていたが、導入されてからは意外と違和感なく使えている」と振り返つた。